

## **2020 年 3 月期決算説明 電話会議 主な質疑応答（要旨）**

**Q1. 足元の 1 月以降 4 月頃までの月次の収支状況の概要を教えてください。**

A1. 2 月までは概ね計画通りでしたが、3 月中旬以降サプライチェーンの変化に影響を受けるモノづくり系のお客様(自動車、家電品、半導体等)の稼働が止まり、マイナス影響が顕在化してきました。一方、流通系などの国内 3 PL は堅調でしたが、そのマイナス影響をカバーできませんでした。4 月は、北米・欧州の自動車関連事業で全く物量が動いていない状況であり、厳しいスタートになると想定していますが、流通系の国内 3 PL が操業の上がっていない事業をいかに補っていくかが重要と考えます。

**Q2. 顧客の状況が厳しいと想定される現状において、単価、数量の修正が迫られるなど 3PL 事業の収益性に影響を与えるリスクがあるかどうか教えてください。**

A2. 現時点において、値下げなどの要請より、先ずは物流ニーズに応じてほしいことが国内のお客様の要望として挙がってきている状況です。懸念点としましては、在宅勤務が進んでいる中、価格交渉の遅れによる収益への影響が考えられますが、現時点において、値下げ要求などはない状況と認識しております。

**Q3. 流通系の国内 3 PL で物量が増えているなか、外注費や人件費は上昇していないか教えてください。**

A3. 現時点では、物量の減った事業や在宅勤務等の自家社員を流通系の部門に流動的にシフトさせ、外注費をコントロールできています。また、この結果、外注等の依存が低下傾向となり、人件費の上昇リスクも少し薄れている面もあると考えられます。

**Q4. 新型コロナウイルスの間接影響含む物量減は売上収益には▲137 億円とのことですが、営業利益への影響はどの部分に相当するか教えてください。**

A4. 主に、サプライチェーンの乱れによるフォワーディング減収が影響し、減益となっている面があり、具体的な影響数値は記載しておりませんが、既存物量の減少による減益影響に含まれている形となっております。

**Q5. 2020 年度のポートフォリオ戦略はどのような考えを持っているか教えてください。**

A5. ポートフォリオの整理は常に弊社内で検討しております。今後については新型コロナウイルスによって影響が出てきた事業、それから新型コロナウイルスの終息後に事業にどのような影響が出るかを見据え、常にポートフォリオの整理および強化していく事業は強化していく考えであります。

**Q6. 資金が増えている状況と見受けられるが、資金調達の考え方と投資の状況について教えてください。**

A6. 低金利を踏まえ 500 億円資金調達しており、100 億円は返済に充て、400 億円ほど資金が多くある状態になっておりますが、今後の成長機会への投資に備えての先行調達という位置付けとしております。一方、2019 年度の設備投資については受注の状況やズレなどがあり、計画と比較し、少ない状態となっております。

**Q7. バンテックの業績は急速に悪化していると思いますが、足元 3 月の月次収支状況を教えてください。**

A7. 3 月の営業利益は経費節減および引当金の調整などもあり 7 割程度の水準であったと認識しております。

以 上